

劇作家、小説家、演出家、翻訳家、評論家。東京・四谷生まれ。陸軍幼年学校より士官学校へ。久留米の連隊に少尉として配属されるが、退官して東大仏文選科に入る。

1919年フランス演劇に興味をおぼえ渡仏。コポーやピエトフなどの新演劇運動の担い手たちに影響を受け、劇作を志し、23年に帰国。24年「古い玩具」を『演劇新潮』に発表。

「チロルの秋」「紙風船」「ぶらんこ」など、近代人の微妙な心理の綾を暗示的な手法で描き出す清新な作風。知的対話が注目される。「現代演劇論」などの演劇評論も発表。築地座（友田恭助、田村秋子）で演出も手がける。雑誌「劇作」の創刊。久保田万太郎、岩田豊雄とともに「文学座」を創設。40年には大政翼賛会文化部長も勤める。54年（昭和29年65歳）「どん底」演出中に倒れる。岸田國士戯曲賞は、今日でも知られている。＜文六の思案・知らん＞は、岸田の異彩を放っている作品。世話物じみた物語から彗星が地球に衝突するという途方もない話。茶の間から一転、地獄も鬼も出る奇想な物語。



岸田國士

Kishida Kunio
1890-1954

写実を超えた、奇想・幻想作品の2作者をリーディング

泉鏡花

花

Izumi Kyoka
1873-1939



を患い4年間の療養を過ごすも「婦系図」「歌行燈」など風俗的小説の名作を発表。鏡花復活の端緒となるのは、永井荷風が主宰する反自然主義思潮の拠点「三田文学」への寄稿「三味線狂」。これを契機に水上瀧太郎、久保田万太郎、里見弴そして芥川龍之介、谷崎潤一郎との交流は幻想文学の先駆者・泉鏡花を成熟、大成させていく。大正期「夜叉ヶ池」「海神別荘」「天守物語」「山吹」「戦国茶漬」など勢力的に発表された代表戯曲は、現実と魔界を往き来し徐々に濃密な魔界への没入感を醸し出す美麗な文体、美感を高揚させる1つ1つの場面作り、日本の風土が生んだ口碑伝説が独自の発想と相俟って見事に唯美主義に貫かれた虚構世界があり、そこにリアリズムを超えたりアリティー、人間の真相が根幹を成す。時代を超え新たな視点が注がれ続ける作家である。

小説家・劇作家。石川県金沢に父清次（加賀象嵌の影金師）母すゞ（葛野流鼓師中田豊喜の娘）の長男として出生。少年期より多くの小説類を耽読。17歳で尾崎紅葉にあこがれ作家を志し上京するが機を得ず、放浪生活の後、紅葉門下となり小説の執筆を始める。「外科室」「高野聖」「草迷宮」など独自の幻想的耽美的作風は明治文壇に異彩を放ち作家の地位を獲得する。しかし自然主義運動の台頭により文壇の主流から遠のけられる状況に直面、神経症

12月22日(土) シンポジウム出演

講師◎湯浅雅子

大阪教育大学非常勤講師。英国ハル大学名誉研究員。岸田國士「葉桜」を英語翻訳上演など。日本演劇学会会員。1990年～1999年、英国リーズ大学東アジア学部教員。博士号取得後には英国笹川基金の助成を受けて岩松了、岸田國士等の作品を含む＜日本戯曲の3年連続英語上演＞を行なう。1997年にNew Cherry Leaves（『葉桜』作・岸田國士）をワークショップシアターの日本人修士生の公演に乞われて再演出する。同年11月、NYのジャパン・ソサエティの「世界の中での日本演劇」に於けるシンポジウムでこの公演について語る。2004年に近松の作品を戯曲として世界演劇のレパートリーに紹介することを目的とする＜近松プロジェクト-近松世話物三作の英語上演＞を始める。プロジェクトでは翻案・翻訳・演出を行なう。

パネラー◎井上理恵

演劇研究者。日本近代演劇史研究会代表。著書「久保菜の世界」「近代演劇の扉をあける」「菊田一夫の仕事」「ドラマ解説」他。日本演劇学会河竹賞受賞。日本近代演劇史研究会編「岸田國士の世界」「20世紀の戯曲Ⅰ～Ⅲ」出版など。「テアトロ」に＜村山知義の演劇史＞連載。

12月23日(日) シンポジウム出演

講師◎正木喜勝

1978年京都生まれ。大阪大学文学部演劇学専攻卒業、大阪大学大学院文学研究科助教を経て、現在同招聘研究員。博士（文学）。専門は演劇学、近代日本演劇史。共著に『劇の尖端村山知義』（森話社）、論文に「築地小劇場『朝から夜中まで』（1924）の舞台装置再考」（『近現代演劇研究』2号）等。大阪芸術大学、大阪体育大学、大手前大学、龍谷大学、宝塚北高等学校演劇科で「舞台芸術史」「戯曲論」等の講義を担当。関西の現代演劇にも関心が高く、演劇批評誌『シアターアーツ』に時評「東日本大震災と関西演劇」を発表、また今年度より京都芸術センター通信『明倫art』に劇評を連載している。

パネラー◎キタモトマサヤ

遊劇体主宰。演出家。遊劇体での泉鏡花オリジナル戯曲全作品上演の演出を担当しています。既上演戯曲は「紅玉」、「天守物語」、「夜叉ヶ池」、「山吹」、「海神別荘」、「多神教（初演）」、「戦国茶漬」。2013年6月には、「恋女房」をアイホールで上演の予定です。

■ 料金 500円

■ お申し込み・お問い合わせ

日本演出者協会 関西ブロック事務局

e-mail:kansaiblock@yahoo.co.jp

☎080-4025-2202（関西ブロック事務局）

■ 公開研修について

稽古場見学出来ます！ご希望の方は、各作品のお問い合わせ先にお申し込み下さい。稽古場見学お問い合わせ先

090-5679-9897(菊川)／090-9624-7396(コズミックシアター)

■ 谷町劇場

大阪市中央区谷町7-1-39
新谷町第2ビル
☎06-6768-9957

長堀通	住友銀行 ●	● コスモ石油
	近畿銀行 ●	● デイリーヤマザキ
		● 「谷町6丁目」3番出口
		空堀商店街
※ 地下鉄谷町線 長堀鶴見緑地線 「谷町6丁目」下車 3番出口を南へ150m。		谷町劇場 新谷町第二ビル 1Fや1F下層に出入り口があります。
		● 大阪谷町郵便局

【関西ブロック役員】 菊川徳之助・木嶋茂雄・深津篤史・田中孝弥・井之上淳・堀江ひろゆき・森本景文・今泉おさむ・木田昌秀・坂手日登美・金子順子・山本つづみ・柳平淳・笠井友仁・山口浩章・中嶋悠紀子 【宣伝美術】 前嶋のの